

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	トーマス・クラブ稲毛教室		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 26日		～ 2026年 2月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	2026年 1月 26日		～ 2026年 2月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 24日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	祝日や長期休みには、普段行けない場所への外出活動を多く取り入れ、新しい刺激を受けながら「楽しい」と「療育」を両立できている。今後も子どもたちや保護者の希望を聞きつつ、活動のバリエーションをさらに増やしていきたい。	活動ごとに個別支援計画と結びつけて目的を明確にし、「何をねらいとして行るか」を職員間で共有しています。事前に写真や説明で見通しを伝えて不安を和らげ、活動後は振り返りを行い、良かった点や課題を次回の計画に生かせるよう意識して取り組んでいます。	活動後の記録を蓄積し、どの活動がどの児童に効果的だったか分析できる体制を整えていきます。あわせて、保護者アンケートなどで希望する活動や心配な点を定期的に伺い、家庭のニーズと事業所の専門性を組み合わせた計画づくりを一層進めていきます。結果はお便り等でわかりやすく共有し、見える形で還元していきます。今後も継続的に改善を図ります。
2	小学1年生から高校3年生まで幅広い年代の児童が在籍しており、異年齢の関わりの中で、思いやりやあこがれの気持ちが育っている。今後は高学年・高校生がリーダー役になる機会を意識的に作り、社会性や自己肯定感のさらなる向上につなげていきたい。	幅広い学年が在籍している強みを活かし、異年齢でのグループ活動やペア活動を意識的に取り入れています。高学年が自然とお手本やサポート役になれるよう役割を設定し、困り場面では職員が間に入りながら調整しています。トラブル時には、どう声をかければよかったか一緒に振り返り、次につなげる学びにできるよう支援しています。	今後は、高学年や中高生がリーダー役や係活動として継続的に活躍できる仕組みを作り、自信や自己肯定感の向上につなげたいと考えています。年齢に応じた簡単なSSTや話し合い活動も取り入れ、人間関係のコツを学ぶ機会を増やします。その様子を記録し、保護者とも共有することで、ご家庭での声かけにも生かしていただけるようにします。
3	連絡帳や個別面談、保護者会などを通して、家庭と事業所が連携しながら支援を進められている点が強みである。今後は、保護者からの意見や要望をより取り入れられる場(アンケート・意見箱・座談会など)を充実させ、双方向のコミュニケーションを一層強化していきたい。	連絡帳や送迎時の対話に加え、個別面談や保護者会を通じて教室での様子や支援方針を丁寧にお伝えするよう心掛けています。活動の写真やお便り等で日々の様子を「見える化」し、家庭での困りごとにはできるだけ早く具体的な提案を返すことを意識して取り組んでいます。安心して相談できる関係づくりを大切にしています。	保護者アンケートや少人数の座談会など、意見を出しやすい機会を定期的に設け、いただいた声を支援内容やルールの見直しに反映していきます。個別支援計画の更新時だけでなく、途中経過の簡単なフィードバックも行い、事業所が大切にしている支援の方向性を分かりやすく共有し、共通理解を深めていきます。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	平日の放課後は利用時間が限られており、一人ひとりの個別課題に十分な時間を確保できない日があります。活動内容が詰まり過ぎて慌ただしくなる場面もあるため、時間配分や優先順位の見直しが今後の課題です。	放課後の限られた時間の中で送迎時間も固定されているため、個別課題に十分な時間を割きにくいことが背景にあります。また、外出や行事など全体活動を多めに計画している日もあり、一日の流れが詰まり気味になることも要因と考えています。	活動数と時間配分を見直し、優先度の高い個別課題に取り組む時間枠を明確に確保していきます。また、職員間で一日の流れやねらいを共有し、余裕を持ったスケジュールを意識することで、落ち着いて課題に向き合える環境づくりを進めていきます。
2	高学年・中高生向けの進路や将来を見据えたプログラムが、まだ十分とはいえない状況です。生活スキルや社会参加を意識した内容が少ないため、年齢に応じたステップアップ型のカリキュラムを充実させることが課題です。	高学年・中高生の在籍人数が比較的少なく、日々の活動が低学年中心で組まれやすいことが要因となっています。そのため、年齢に応じた生活スキルや将来を見据えた内容を意識しつつも、十分に時間や枠を確保できていない現状が課題と考えています。	週に一度など、学年や発達段階に応じたグループや個別の時間を設定し、生活スキルや社会参加を意識したプログラムを計画的に行います。また、本人や保護者の希望も聞き取りながら、段階的な目標を設定し、達成状況を振り返れる仕組みを整えていきます。
3	室内スペースに限りがあり、天候不良時などに活動内容が単調になってしまうことがあります。密になりやすい時間帯もあるため、室内でできる運動や遊びのバリエーションを増やし、環境面の工夫を進めることが課題です。	教室の物理的なスペースが限られているため、雨天時や長期休みには室内に児童が集中しやすく、活動内容が単調になりがちなのが要因です。また、スペース確保を優先するあまり、コーナー分けや環境設定が十分とはいえない場面もあると感じています。	机上活動・感覚遊び・軽運動など、少人数で分かれて取り組めるコーナーづくりを進め、室内でも選択肢のある活動を増やしていきます。あわせて、備品配置や導線を見直し、密を避けつつ落ち着いて過ごせる環境を工夫することで、室内活動の幅を広げていきます。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 トーマス・クラブ稲毛教室

公表日 令和8年3月11日

利用児童数 20

回収数 16

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない			
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	16				・広々としています。	・安全面と動線に配慮しながら、こどもたちがのびのび過ごせる環境を維持・改善していきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	14	2			・そう思います。	・今後も支援の質を保てるよう、人員配置や研修体制の見直しを継続して行っていきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	13	2		1	・無駄のない空間になっています。	・こどもたちの見通しの持ちやすさと安全性のバランスを大切に、必要に応じて環境調整を続けていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	15			1	・無駄のない空間になっています。	・引き続きこまめな清掃と換気、季節に応じた室温調整などを行い、安心して過ごせる環境づくりに努めます。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	14	2			・とても見て頂いていると思います。	・一人ひとりの特性に合わせた支援を心がけます。必要に応じて研修参加や情報収集を行い、専門性の向上にも努めてまいります。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	16				・思います。	・活動内容の見直しを行い、変更点がある際にはわかりやすくお知らせしていきます。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	16				・毎回とても適切に作成されていると思います。	・これからも保護者様からの情報やご意見を反映しながら、より実態に即した計画作成に努めます。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	15	1			・毎回とても適切に作成されていると思います。	・本人支援・家族支援の両面を意識して目標設定を行います。見直し時には達成状況も丁寧に振り返ってまいります。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	16				・思います。	・支援内容が計画とずれないように、職員間での共有と定期的な振り返りを続けていきます。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	14	1		1	・とてもよく考えられていると思います。	・季節行事や屋外活動などを取り入れながら、こどもたちの興味や成長に合ったプログラムづくりを続けていきます。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	9	1	2	4	・放課後児童クラブや児童館にいるような定型の子との交流はありませんが、必要性も感じていません。 ・多分ない・・・？	・現在は事業所内での活動を中心としている状況ですが、ご意見を踏まえ、こどもたちの負担や安全面を考慮しつつ、無理のない範囲で地域との関わり方についても今後の検討課題としていきます。
保 護 者 へ	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	15		1		・初期に説明頂いております。	・制度変更や料金改定等があった際にも、その都度わかりやすい形でお知らせできるよう努めてまいります。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	16				・はい。	・目標や支援内容がイメージしやすいよう、面談等の機会を活用して丁寧な説明を心がけていきます。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	14			2	・参加はあまりしていませんが、行っております。	・参加しやすい日時や内容の工夫を行い、無理なく参加できる機会づくりにも取り組んでいきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	15	1			・送迎の際によくお話ししてくれて、その日の様子が伝わります。	・連絡帳や送迎時の短時間の会話を大切にしながら、こどもの変化や成長を共有していきます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	16				・申し出にも対応して頂きとても助かっております。	・気になることを気軽に話せる雰囲気づくりと、必要に応じた面談の場の設定を心がけてまいります。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	15			1	・思っています。	・子ども・保護者双方の気持ちに寄り添う姿勢を大切に、丁寧な対応を続けていきます。

の 説 明 等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	15	1		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者会は毎年開催されています。イベントは兄弟も一緒に参加でき楽しい時間を過ごせました。 ・保護者はありませんが兄弟はわかりません。餅つきでされてる・・・？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者同士・きょうだいも含めた交流の場を大切にしています。案内時にはきょうだい参加の可否をより分かりやすくお伝えします。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	15		1	<ul style="list-style-type: none"> ・相談の申し出に対応して頂いた際には真摯に向き合ってもらいました。ありがたいです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・困りごとと一緒に考えられる場として、声をかけやすい雰囲気づくりと丁寧な対応を続けていきます。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	14	2		<ul style="list-style-type: none"> ・思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡手段や説明内容を分かりやすく保つことを大切に、必要に応じて連絡方法の見直しも検討していきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	14	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・最近、アプリで連絡のやりとりをするようになりましたが、活動予定や写真を載せてくれます。とてもわかりやすいです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の様子やお知らせをタイムリーに共有しています。必要に応じて内容や頻度の工夫も行っています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	13	2	1	<ul style="list-style-type: none"> ・はい。そう思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員への周知徹底と管理方法の確認を継続し、適切な取り扱いに努めてまいります。
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	14	2		<ul style="list-style-type: none"> ・初期にして頂いております。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年度初めや必要時にも、内容の要点を再度お知らせし、保護者様にも分かりやすく共有しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	12	2	2	<ul style="list-style-type: none"> ・してると思いますが、子どもに聞いたらポカンとされたのでわからなくなってきました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・訓練は実施しておりますが、お子様からは伝わりにくい面があるのご意見を重く受け止めています。今後は、訓練実施後に「何をしたのか」を子どもにも分かりやすく振り返り、あわせて実施状況を保護者様へもお便り等でお知らせしていきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	14	2		<ul style="list-style-type: none"> ・教室を見た感じされていると思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境点検やヒヤリハットの共有を継続し、必要に応じて安全に関する取組内容も情報提供してまいります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	14	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ありがたい事に、最近ケガとかしていませんので、現在は不明です。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ケガなく過ごしているとのことですが、今後もし事故やトラブルがあった場合には、これまでと同様に状況・対応を丁寧にご説明いたします。年度初め等に連絡体制についても改めてご案内してまいります。
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	15		1	<ul style="list-style-type: none"> ・とても。 	<ul style="list-style-type: none"> ・表情や行動の変化に目を向けながら、安心して過ごせる雰囲気づくりを続けてまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	13	3		<ul style="list-style-type: none"> ・最近は情緒の不安定さがあるので嫌がる時もありますが夏はとても楽しそうでした。 ・毎回活動を楽しみにしています。 ・はい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しみにしているとお声とともに、情緒の不安定さから嫌がる日があるというご意見も真摯に受け止めています。その日の体調や気持ちを丁寧に汲み取りつつ、安心して参加できる声かけや活動内容の調整を行っています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	14	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・いつも本当にありがとうございます！！子どもも親も安心してトーマス・クラブさんにお願ひできます。 ・子どもはトーマスが大好きで支援に対し、十分満足しています。 ・いつもありがとうございます。 ・はい、いつも助かっております。先生方、みんなとてもあたたかいです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・たくさんの温かいメッセージと「十分満足しています」とのお言葉を大変ありがたく感じております。今後も現状に甘んじることなく、子どもとご家族の安心につながる支援の質向上に努めてまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	トーマス・クラブ稲毛教室				公表日	2026年 3月 11日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		・児童の状態や人数によって1Fと2Fに分けてスペースを上手に使うようにしている。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	1	・基準配置以上の人数で対応しています。 ・職員の役割分担が適切に行われているため、現在の職員数でも適切を感じている。	・職員をやむをえない体調不良の時など職員が足りないと感じる。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	1	・階段は急ではあるが手すりがついている。 ・文字や写真を使用して情報伝達等を行っております。 ・日課の掲示や、季節に合わせた飾りつけで過ごしやすい環境作りがされている。	・階段に物を置く事があり、通りやすくする必要があります。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		・毎日清掃をして清潔で心地よく過ごせる環境作りをしています。	・送迎後の車中のアルコール消毒をするのも良いかもしれない。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		・気持ちの切り替えが出来るスペースが設けられている。 ・必要に応じて別部屋で過ごして気持ちの切り替えを行ってまいります。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7		・ミーティングや朝礼時に振り返りを行っています。 ・職員全体でPDCAサイクルに参画している。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		・保護者と一緒にイベント（夏祭り・餅つき・保護者会）等で意見を聞き、それを参考にしている。 ・業務改善につなげている。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		・朝礼やミーティングで意見を言っている。 ・月1回スタッフミーティングを行っている。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	5	・業務改善につなげている。	・今後は専門的的外部評価機関に評価をしてもらう。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		・研修を定期的に行っている。 ・研修希望が通りやすい。			
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		・作成公表されている。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		・ミーティングやケース会議の際に分析を行い計画書を作成しています。			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		・気になる行動などがあつた際には記録をしてケース会議の際に振り返りをして今後の対応について検討しています。			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		・計画書を全スタッフに見てもらい、計画に沿った支援を行っています。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		・記録を取って適度に確認する様にしています。			

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		・各項目を支援計画書の内容に取り入れ、具体的な支援内容を設定し支援を行っています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		・各担当でプログラムを作成し、活動前にすり合わせを行っています。	・もう少し立案意見をお互いに出せると良い。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		・月単位のミーティングで活動内容を決めている。 ・マンネリ化しないよう変化をつけている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7		・1階と2階に分けて支援を行っている。 ・その日の児童の様子を見ながら活動を提供しています。活動についても支援計画書に記載してあります。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		・ミーティングで内容を確認している。 ・当日の送迎の確認、全日の振り返りを行っている。 ・打ち合わせの中で、内容と役割分担が確認できるため、日が浅い職員でも動きやすい。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	1	・翌日のミーティングで振り返りを行っている。	・お休みの職員にもしっかりと情報共有できるように連携を強化していく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		・サービス提供記録や個人記録を取り、ケース会議の際に検証、改善につなげています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		・定期的にモニタリングを行い、必要に応じて支援計画書を見直しています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7		・SSTや創作活動を取り入れて、活動プログラムを行っております。	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7		・当番等を決めている。 ・余暇時間や活動プログラムの中に、自己決定をするプログラムを導入しています。		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		・管理者が参加している。 ・利用児童の状況に応じて会議が開かれた際には、参加するようにしています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	1		・もっといろんな幅広い分野の専門家と連携していきたい。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7		・その時の状況に応じて対応するようにしています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	3		・可能であれば情報共有などを行ってきたいです。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	2		・移行する際に情報提供を求められてた際には対応する様にします。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	2	・年に数回、稲毛区の意見交換会に参加し、助言や研修を行っている。	・交流会の時に積極的に助言を求めようようにしていく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	4	・公園で近隣の学校の児童との交流がある。	・交流の企画などを提案していきたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	4	・稲毛区の意見交換会に参加しています。	・機会があれば参加したい。
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		・電話や送迎時に情報交換を行っている。		

	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	2	・年に数回、親子参加での活動プログラムを行っている。	・保護者にもっと家族支援のありかたを説明して今後は保護者と一緒に参加できる研修を行っている。
保 護 者 へ の 説 明 等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		・送迎時に必要に応じて説明を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		・年2回保護者面談を行い、ご家族の意向を確認する機会を設けている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7		・年2回保護者面談を行い、支援内容を説明し同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		・電話や送迎時に話を聞き助言をするようにしています。必要に応じて面談を行います。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	7		・年に1回保護者会を開催したり、保護者や兄弟が参加できるイベントを行っている。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7		・Instagramや連絡帳を使用して活動の様子や予定を発信しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	4		・夏祭りや餅つきなどで、地域住民との交流を図っている。
非 常 時 等 の 対 応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		・各マニュアルをすぐ確認できる場所へ掲示し周知されている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		・年2回避難訓練・消火訓練を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7		・ヒヤリングをして確認しています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		・与薬依頼書に沿って対応しています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		・ヒヤリハットを朝礼で共有している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		・虐待防止委員会、虐待研修を定期的に行っている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7		・保護者に十分な説明を行い、了解を得て記録として記載して保管している。		